

第50号



南円山ふれあいだより

南円山連合町内会シンボルマーク

新会長あいさつ



南円山連合町内会会長
土屋 公保

この度、南円山連合町内会
会長に就任しました土屋公保
です。

南円山連合町内会は、南円
山地区の単位町内会加入者の
総意を代表する機関です。

各単位町内会相互の密接な
連携協力のもとに行政と住民
との理解を深め、地区の発展
と住みよいまちづくりを努め
ることを目的としています。

この為には、地域での人と
人との繋がり、支えあいが大
切です。

地区の皆様と共に南円山地
区に貢献し、連合町内会に尽
力します。

ご理解とご協力をお願い
いたします。



第二町内会会長
岡澤 邦彦

南円山は自然がとて豊か
です。私たちは四季を通じて
その美しさを味わっています。

南円山はその昔、アイヌ語で「モ
イワ（小さな山）」と呼ばれて
いました。しかし明治四年に、
この地域が円山村と命名され、
この山も「円山」と呼ばれる
ようになりました。当初は農
地だった円山地区も、今は札
幌有数の住宅街となり、戸建
てや集合住宅の中にセンスあ
る店も点在しています。山麓
を歩くと開拓時代の名残を見
付けることもできます。

この度、南円山第二町内会
会長を拝命いたしました。皆
さんで、さらによい街づく
りを進めていきましょう。何卒
よろしくお願いいたします。



まちづくり
センターより

4月から、所長になりま
した級久保（またくぼ）です。
南円山地域の皆様には、
日ごろより札幌市の行政に
ご理解とご協力をいただき、
心からお礼申し上げます。

皆さまには、何かと行き
届かないと思いますが、少
しでも南円山地区のお力に
なれるよう努力してまいり
ます。

また、昨年度から引き続
き相原さん、そして4月か
ら村越さんが運営に関わっ
ておりますので、どうぞよ
ろしくお願いいたします。
今後も、お気軽にお立ち
寄りください。



編集後記

防災の日制定趣旨

「防災の日」は、昭和35年（19
60年）6月11日の閣議で、9月
1日を「防災の日」とすることが、
承認されました。

9月1日を「防災の日」とした
経緯は、9月1日は、関東大震災
が発生した日であるとともに暦の
上では210日にあたり、台風シ
ーズを迎える時期でもあり政
府、地方自治体など関係機関はも
とより、広く国民の一人一人が台
風、高波、津波、地震などの災害
について認識を深め、これに対処
する心がまえを準備しようとい
うのが、「防災の日」設定のねらい
です。

災害に対しては、常日頃から注
意を怠らず、万全の準備を整え災
害の発生を未然に防止し被害を最
小限に留める活動の日を作ろうと
いうことで、毎年9月1日を「防
災の日」にしたのが制定の趣旨で
す。

「南円山ふれあいだより」

発行 南円山地区福祉のまち推進セン
ター
協賛 南円山連合町内会
編集委員長 土屋公保
編集委員 道音典子
協力 南円山まちづくりセンター
所長 級久保和彦
南円山会館 南9西21-1-1
電話 5611-2472

南円山地区福祉のまち推進センター研修会開催
ダブルケアを共に考える

南円山地区福祉のまち推進セ
ンター研修会を7月19日、南円
山会館において、KaELLE代
表の野嶋成美講師を迎え、ダ
ブルケアとは？新たなケアラー問
題と必要な視点〜をテーマに講
演し、福祉のまち推進委員35名
が、意欲的に講演を受けていま
した。

講師の野嶋さんは、自身のダ
ブルケア経験をもとに、ダブル
ケアの専門家として、札幌を中
心に全国で勉強会を開催し、セ
ミナーの講師を務められていま
す。また、ラジオや YouTube
に出演されたほか、ダブルケア
の研究を行うなど、幅広く活動
されています。

講演では、まず、ダブルケア
の定義について、複数のケアが
重なることで、生じる負担、ニ
ーズ、背景にある責任に焦点を
あてた視点と言え、広い意味で
は複数のケアが重なること、せ
まい意味では介護と子育ての同
時進行のこととお話がありまし
た。

次に、ダブルケアの問題点と
して、昔と違ったさまざまな社
会の変化が背景にあると、説明
がありました。

そして、ダブルケアの注意
の重要なポイントとしては「あ
なた自身のケアが大切」とのこ
とでした。
ダブルケア当事者の思いを知
ること、ダブルケアの実態を
理解することができたよう
です。



交通安全

南円山地区では、毎年、春・夏・秋の3回、交通安全街頭啓発を行っています。

今年度からは、菊水・旭山公園通（南9条通）の南円山会館前に場所を移して実施しています。

また、11月には南円山会館において、交通安全に関する研修会を開催して交通安全意識の向上を目指していきます。



街頭啓発は、南円山交通安全運動実践会、交通安全指導員会、交通安全母の会の主催により、各町内会の皆さんをはじめ、西警察署や緑丘小学校PTA、中央区交通安全運動推進委員会も参加し、毎回80名ほどの参加者が、のほり旗や手旗を振り交通安全を呼びかけています。地域の皆さんが街頭に立ってドライバーや歩行者などに交通安全を呼びかけています。



ふれあい子育てサロン

6月13日（月）と7月27日

（水）に南円山会館で、ふれあい子育てサロンが開催されました。

「コロナ禍なので今日は誰も来ないかも・・・」というスタッフの心配をよそに、どちらの日も約10組の親子さんが、元気に参加してくれました。



おままごとやボウリング、プラレール、ミニカー、お魚つり、車の乗り物など、いろいろなおもちゃで遊んだあとは、お楽しみコーナーです。スタッフによる手あそびや絵本の読み聞かせ、5匹のかえるによる「かえるのうた」のアトラクション。そして大人気のパンダさんの着ぐるみの登場。



毎度の登場ですが、そのたびに子どもたちが目を輝かせて近づいていく様子がとても可愛らしいです。そして、最後は元気いっぱいアンパンマン体操をして終了しました。

次回の子育てサロンは、10月3日（月）の予定です。換気や消毒など感染対策を万全に行い、皆様のご参加をお待ちしております。

いつまでもお元気です！ 敬老事業が行われました

南円山地区福祉のまち推進センター主催の敬老事業として、9月19日の敬老の日を迎え、福祉のまち推進センターから80歳以上の方に、お祝いのお茶をお届けしました。ご長寿おめでとうございませう。いつまでもお元気でお過ごしください。



今年度の南円山連合町内会の対象者は、およそ千名でした。各町内会の役員や民生・児童委員などが、お祝い文と記念品のお茶をお届けしました。この敬老事業は、地域の見守りや交流の機会にもなっています。



受賞おめでとうございます

○防犯功労者表彰

齋藤 政治 様（啓明）

長年にわたり、地域安全活動を積極的に推進し、犯罪のない安全で安心な地域づくりに貢献されましたので、その功労をたたえ、北海道警察本部長・札幌方面防犯団体連合会から表彰されました。

